

# 熊本日日新聞 読者の広場

令和2年5月8日掲載

葦北町立葦北中学校 教諭 田崎隆盛

「休校が再延長となりました…。」5月1日登校日に目の前の生徒30名に向けてこの言葉を言わなければいけないのが本当に苦しかった。本来であれば5月7日から始まる学校生活に向けての準備物や心構えなどを話し、「じゃあ来週から頑張ろうね」と笑顔で「さよなら」の挨拶をするはずだった。

4月、彼らが入学してきてすぐに休校の延長が決まった。登校日ごとに一週間の生活を振り返りながら一人一人と面談し、担任として次の週間に頑張ってほしいことや気をつけてほしいことを伝えていった。生徒達はそのことを意識し、一週間の生活を送ることで生活リズムを整えたり、学習を計画的に進めたりということができるようになってきた。

一方でテレビをつけると、連日大人が好き勝手に遊びに行っているというニュースをよく見る…。そういうたニュースを見る度に、長期休校というこれまで経験したことのない状況の中で、自分のやりたいことを我慢し、学校のルールを守りながら生活している生徒達のことを担任として誇りに思う。

今後休校の再延長期間で生徒達は中学校の学習内容を「一人学び」という形で予習していくことになる。帰りの会で「わからなくて当然、とりあえずやってみることが大切」と生徒達に話し、「『やってみよう！』を1年2組の合言葉に頑張ろう！」と笑顔で次の再会に向けてのスタートを切った。